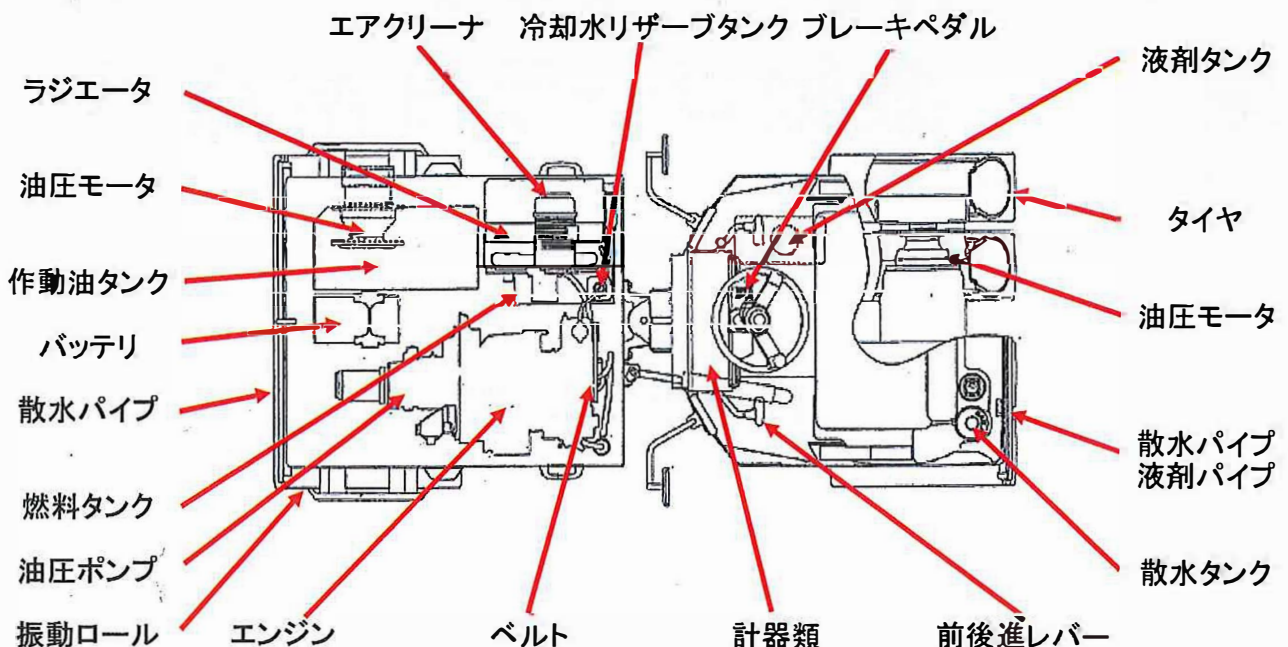


日常点検

1. エンジンオイル点検
2. 冷却水点検
3. 燃料点検
4. 作動油点検
5. エアクリーナ点検
6. バッテリ点検
7. ベルト点検
8. エンジンルーム内点検
9. 操作レバー点検
10. ブレーキペダル点検
11. 散水装置点検
12. 液剤装置点検
13. 外観点検
14. 試運転
(計器類点検)

日常点検項目



1.エンジンオイル点検

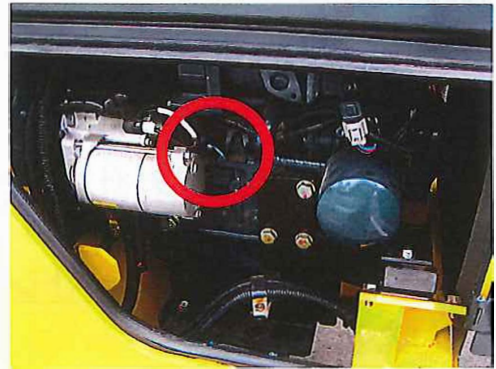
オイルの量・汚れ点検

■ 量

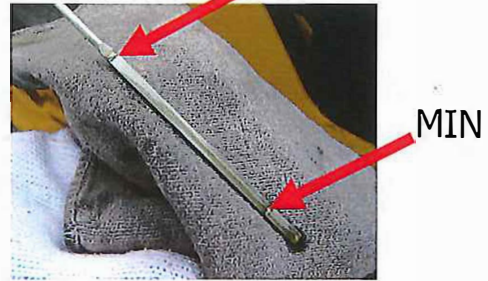
油面表示マーク(MAX~MIN)
の間になれば補充

■ 汚れ

汚れていれば交換



MAX



MIN

油脂名	サービス分類	気温と適用粘度グレード			相当規格
		-15~30°C 寒冷地域	0~40°C 温暖地域	15~55°C 高温地域	
エンジンオイル	API-CD級	SAE 10W-30	SAE 30	SAE 40	MIL-L-2104D

2.冷却水点検

冷却水の量・汚れ・洩れ点検

■ 量

ラジエータキャップをとり、口まで入って
いなければ補充

水温が高い時はキャップを外さない

さらに、2~3分アイドリング後リザーバー
タンクのL-Hの間になれば、リザーバー
タンクに補充

■ 汚れ

冷却水汚れていれば交換
ラジエータフィンの詰り・汚れ点検

■ 洩れ

冷却水洩れの確認



ラジエータキャップ

リザーバータンク

冷却水には軟水を使用して下さい
ロングライフクーラント(ノンミンタイプ)
一般地向け・・・35%濃度
寒冷地向け・・・50%濃度

3. 燃料点検

燃料の量・洩れ・汚れ点検

■ 量

キーをONにし、燃料計で確認
不足していれば補給

補給する時は給油口のストレーナを
付けたまま行う

■ 洩れ

タンク～フィルタ～ポンプ～エンジ
ン間
の燃料洩れを点検

■ 汚れ

補給時のこぼれ等、給油口周りの
点検・清掃



ストレーナ

4. 作動油点検

作動油の量・汚れ点検

■ 量

作動油タンクの横にあるレベル
ゲージの中間ラインにオイル
があれば適性です。
不足していれば補充

■ 汚れ

汚れていれば交換



油脂名	サービス分類	気温と適用粘度グレード			相当規格
		-15~30℃ 寒冷地域	0~40℃ 温暖地域	15~55℃ 高温地域	
作動油	耐磨耗性	ISO-VG32 VI 140以上	ISO-VG46 VI 140以上	ISO-VG68 VI 140以上	ISO-3488

5. エアクリーナの点検

エアクリーナの汚れ点検

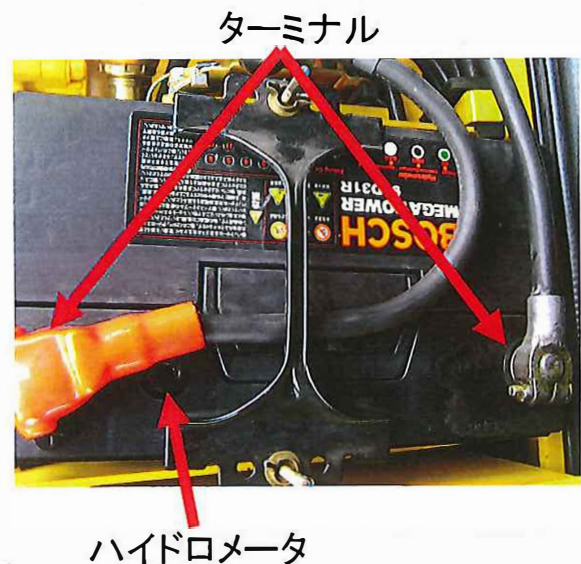
- 汚れている場合
圧縮空気をエレメントの内側から吹き付けて清掃
- 損傷・汚れがひどい場合
交換



6. バッテリ点検

バッテリーの状態点検

- ハイδροメータ色確認
グリーン・・・良好な状態
黒・・・充電が必要な状態
半透明・・・交換が必要な状態
バッテリーサイズ 95D31R
- ターミナルの緩み点検
緩んでいれば確実に締付ける
防錆の為、ワセリンかグリースを塗付



7.ベルト点検

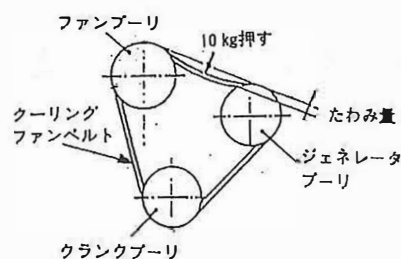
ベルトの損傷・張り点検

- 摩耗・損傷

使用に耐えられない物は交換する

- 張り

ベルト中央部を約10Kgで押した時に
10mmたわむ程度が最適



8.エンジンルーム内点検

作動油洩れを点検

- 洩れ

油圧ポンプ・モータ・ホース等
からの洩れ点検

接続・取付け部からの洩れ点検

エンジンルーム内点検

車両まわり・下まわりから洩れて
いないか点検

洩れがあれば、増締め・修理・交換



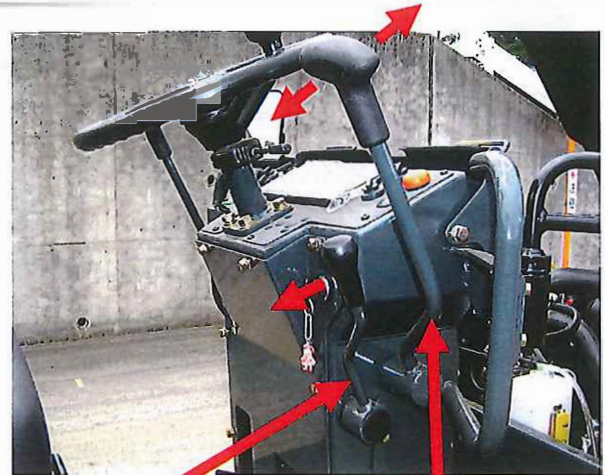
9. 操作レバー点検

作動・ケーブルの点検

- スロットルレバー
スムーズな動きを確認
- 振動スイッチ付
前後進レバー
中立位置の確認
スムーズな動きを確認

通常の制動は、前後進レバーの操作で行います。
(中立に戻すことで機械は止まる)

- バックランプ・ブザーの確認



スロットルレバー

前後進レバー

10. ブレーキペダル点検

作動の点検

- 制動点検
ブレーキペダルを踏んで
ブレーキがかかるか確認
- 作動点検
ブレーキを踏んだ時、前後進レバー
が中立に戻るか確認
緊急時にブレーキペダルを踏む
緊急時以外は使用しない
(転圧面をいためます)
- ブレーキランプ点検
ブレーキペダルを踏んで
ブレーキランプが点灯するか確認

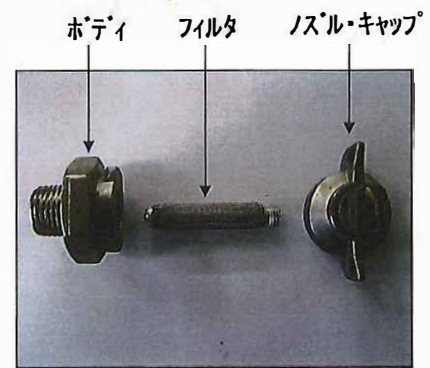


11. 散水装置点検

作動・各機器の点検

- **タンク・配管・噴霧状況**
前後の噴霧状況の確認
タンク内水の量・給水口ストレーナを確認
各機器・配管からの水漏れ確認
- **フィルタ**
錆・こけ等での詰まり・汚れ確認・清掃
- **ノズル**
ノズル内のフィルタ・ノズル先端に
ゴミ・錆があれば清掃・交換

散水用の水には清水を使用して下さい
寒冷時は、凍結防止の為、水抜きを行う



12. 液剤装置点検 (TW)

作動・各機器の点検

- **タンク・配管・噴霧状況**
噴霧状況の確認
タンク内液剤の量を確認
各機器・配管からの液剤漏れ確認
- **フィルタ**
汚れ・詰まりの確認・清掃
- **ノズル**
ノズル先端が詰まっていれば清掃・交換
スイッチOFF後、液剤が後ダレする様
であれば、ノズル内チェック清掃

付着防止剤には、ネッパランシリーズを推奨します



ノズル拡がり幅の調整

液剤を噴霧する場合、タイヤ幅から液剤がはみ出ないようにノズルの拡がり幅を調整してください

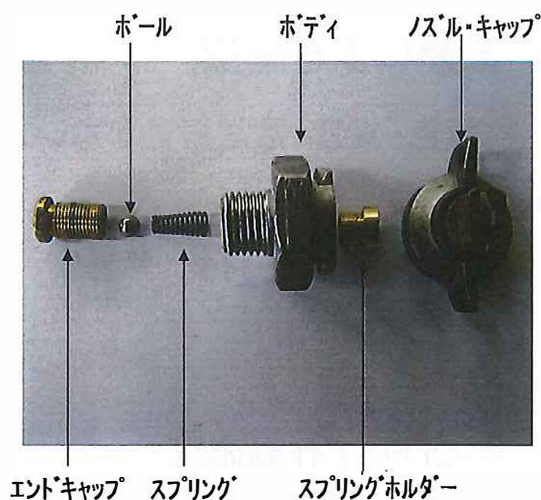
液剤パイプにある調整バルブでノズルの拡がり幅の調整をします
左に回す・・・拡がり幅が増える
(噴霧量が増す)

右に回す・・・拡がり幅が減少する
(噴霧量が減少する)



液剤が後ダレする場合

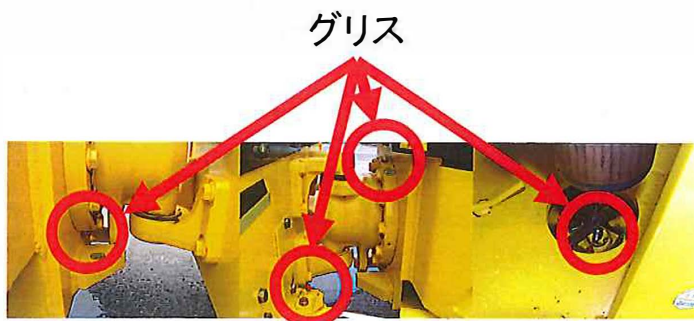
スイッチOFF後、液剤が後ダレする様であれば、ノズル内チェック清掃



13. 外観点検

車両の外周を回り
各部の目視による点検

- 全体(下まわり)
 - 油・水・燃料洩れの確認
 - ボルトの緩み・脱落など確認
 - 安全装置(ミラー・ライト)の確認
- 振動ロール・タイヤ
 - 損傷・タイヤエアーの確認
 - 泥除装置の曲がり・摩耗の確認
- 各部グリース給脂
 - ステアリングシリンダ
 - センタピン



14. 試運転

(計器スイッチ類点検)

エンジンを始動し走行・振動・その他確認

■ 五感による確認

排気色・異音・異常振動がないかを確認

■ 走行

スムーズな発進・停止の確認

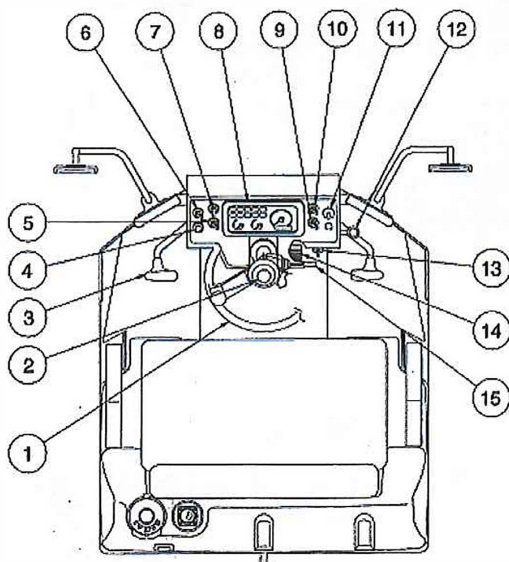
中立の確認

■ 振動

ON-OFFにて作動確認

異音の確認

計器スイッチ類点検



①ハンドル

②ホーンスイッチ

③振動スイッチ付
前後進レバー
(振動ノブスイッチ)

④液剤噴霧スイッチ
(TW352・502)

⑤振動切換スイッチ
(S/TW502)

⑥散水スイッチ

⑦振動スイッチ

⑧コンビネーションメータ

⑨灯火スイッチ

⑩変速スイッチ

⑪駐車ブレーキスイッチ

⑫スロットルレバー

⑬始動スイッチ

⑭ブレーキペダル

⑮方向指示器レバー

計器・スイッチ作動点検

①ハンドル

ガタ付き・作動点検

②ホーンスイッチ

キーONでスイッチを押し
鳴るか確認



③振動スイッチ付前後進レバー

⑤振動切換スイッチ(S/TW502)

⑦振動スイッチ

- ・⑦をAUTO(自動)側にし、前後進する
走行時・・・振動かかる
停止時・・・振動止まる
- ・⑦をノブスイッチ(手動)側にする
ノブスイッチでON-OFFするか確認
中立時(停止時)も連続振動
- ・⑦をOFFの位置で振動停止
- ・⑤低振幅-高振幅の切換を確認



④液剤噴霧スイッチ

(TW352・502)

作動確認

12.液剤装置点検を参照

押している間、噴霧します

手を離すと自動的に止まります

⑥散水スイッチ

作動確認

11.散水装置点検を参照



⑧コンビネーションメータ

・計器類

エンジン回転・積算・温度・燃料計
の確認

・OKモニター

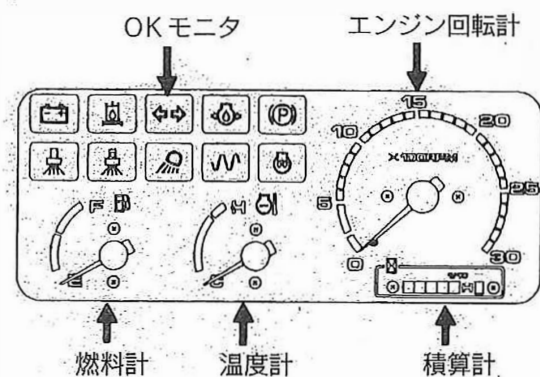
各表示灯の確認

各警告灯の確認

始動スイッチ『入』にすると警告灯

駐車ブレーキ灯が点灯します

点灯しない場合は、球切れです



⑨灯火スイッチ

灯火スイッチは2段式になっています

1段目 各メータの照明・前照灯
リヤコンビネーションランプ赤
の点灯確認

2段目 さらに作業灯の点灯確認

**作業灯は保安基準において
『走行中使用しない灯火』
とされています(現場内のみ使用)**

⑩変速スイッチ

車速(Lo-Hi)の切換確認

⑪駐車ブレーキスイッチ

ブレーキの作動確認

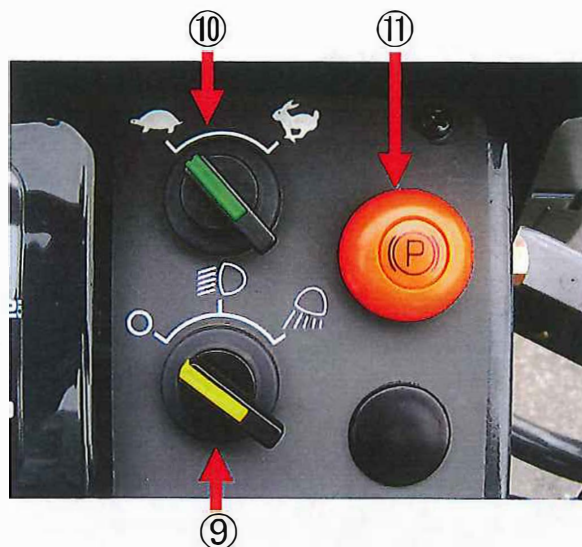
OKモニター表示灯確認

押すと作動し、再度押すと解除

⑫スロットルレバー

作動確認

8.操作レバー点検を参照



⑬始動スイッチ

作動確認

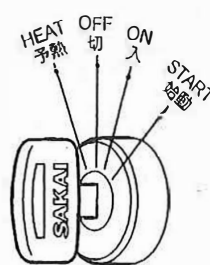
『予熱』 OKモニター表示確認
表示灯が消えたら手を離す
『切』に戻る

『切』 キーの出し入れの確認

『入』 OKモニター球切れ確認

『始動』 エンジン始動の確認

手を離すと『入』に戻る



⑭ブレーキペダル

作動確認

9.ブレーキペダル点検を参照

⑮方向指示器レバー

方向指示灯点灯確認

ハンドルを戻してもレバーは戻らない

